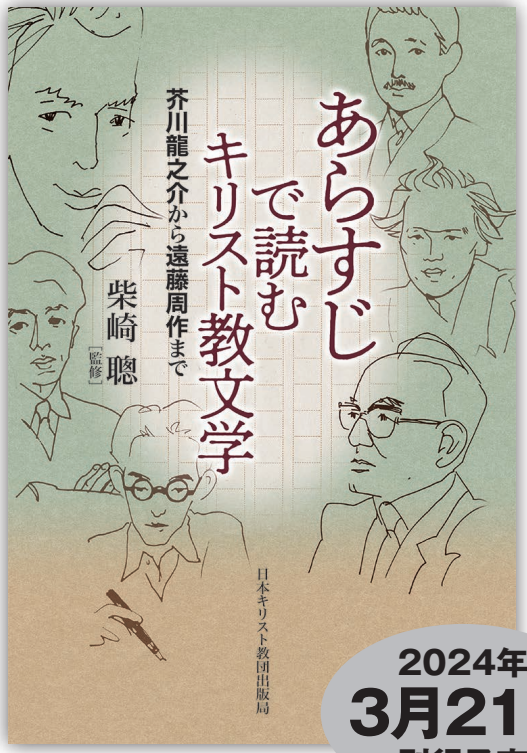
◆2024年3月の新刊　日本キリスト教団出版局

あらすじで読む キリスト教文学

芥川龍之介から遠藤周作まで



2024年
3月21日
刊行予定

キリスト教を伝える文学作品はキリスト教徒によるとは限らない。キリスト教のエッセンスが含まれる名作24作品を「作者略歴」「背景と解説」「あらすじ」で紹介。あらすじ自体が読みごたえのある優れた一つの「物語」となっており、作品本編へといざなっている。『信徒の友』連載を書籍化。

四六判・並製・160頁・定価1,760円（本体1,600円＋税）

ISBN978-4-8184-1158-6　C0095

柴崎 聰（しばさき さとし） 監修
詩人、日本聖書神学校講師

収録作品

- 思出の記（徳冨蘆花）
- 牛肉と馬鈴薯（国木田独歩）
- 何処へ（正宗白鳥）
- 桜の実の熟する時（島崎藤村）
- こころ（夏目漱石）
- 出家とその弟子（倉田百三）
- クララの出家（有島武郎）
- 奉教人の死（芥川龍之介）
- 南京の基督（芥川龍之介）
- 青銅の基督（長与善郎）
- 蟹工船（小林多喜二）
- よだかの星（宮沢賢治）
- いのちの初夜（北條民雄）
- 風立ちぬ（堀 辰雄）
- 旅愁（横光利一）
- 天の夕顔（中河与一）
- イノチガケ（坂口安吾）
- 巴里に死す（芹沢光治良）
- 柳橋物語（山本周五郎）
- 人間失格（太宰 治）
- 野火（大岡昇平）
- 美しい女（椎名麟三）
- 試みの岸（小川国夫）
- 侍（遠藤周作）

【好評発売中】『あらすじで読む三浦綾子 名著36選』森下辰衛＝監修　定価1,760円